

- 問(一) (1) ㉖ 端的 (2) ㉗ 自明 (3) ㉘ 脅威 (4) ㉙ 鑑賞物 (5) ㉚ 失踪者
- 問(二) AIは機械学習による膨大な知識をもとに、問題の解を一つに絞り込む推論を行うから。(四十文字)
- 問(三) AIの判断は人生の各場面へ影響を及ぼすのに、人間はその判断の過程を理解できないという問題。(四十五文字)
- 問(四) 人間から成る官僚組織は外部の人間と相互に影響を与え合うが、内部の閉じた論理にのみ従うAIは人間に一方的な影響を与える。(五十九文字)
- 問(五) AIは内部の論理を人間と共有せず独自の世界認識を持つため、日常の論理から隔絶した「外部」の立場で、人間に社会内部の論理を見直すきっかけを与え得るから。(七十五文字)

問(一) (1) 関わるための手がかりがない

(2) 気性がさっぱりとした

(3) 途中で言いかけて

問(二) 出世頭の妻木を妬み、親切を装って厄介払いしようとする
学閥連中の陰湿さへの怒り。(四十字)

問(三) 職場の煩わしい人間関係が気にならないほどに、職人と共に良い建物を作るといふ仕事が楽しく、心の支えになっている
ということ。(六十字)

問(四) 建物が西欧化し、心地良かった江戸の街並みが遠い存在のように感じられるということ。(四十字)

問(五) 新しい技術と古い意匠が融合した建物を作るといふ夫の仕事への姿勢には、街並みの変化を寂しく感じた自分の発言を心に留め、それに応えようという思いやりが含まれていたと知って驚いたから。(八十九字)

三

問(一) (1) 不都合な折であるので

(2) 風雅のたしなみが見て取れる書きぶり

問(二) 本当に、あまりに風情を解さない様子で、弔問への返答を怠ることが度重なっているので、やはりお返事申し上げなさい。

問(三) 大君の、涙にくれる霧深い山里では、垣根の側で鹿が姉妹の泣き声に合わせて鳴いているという歌。(四十五字)

問(四) 匂宮の、使者の帰りを起きて待ち、届いた返事をいつまでも眺めてなかなか寝ようとしないう様子。(四十四字)

問(五) 男性と不慮の過ちが少しでもあれば、それを心配していた亡き父の魂までも傷つけるのではないかと、男性には何事も気後れして恐ろしいから。(六十五字)

四

問(一) (1) 今にも反乱を起こそうとしており

(2) 子孫ができなかった

問(二) (ア) せいはおうのじにいたり

(イ) 今まだいくばくならずして、はたしてそのげんにおう
ず

問(三) 占いがよく的中することは、父に劣るものではなかったが、

一日に一文字だけを占ったわけではなかった

問(四) 慕天顔が朱某の占いに従い、呉三桂の軍資金の要請を断つ

たこと。(三十字)

問(五) 依頼者が示した「武」の字は、「一」、「代」の人偏を除いた

部分、「止」から成り、子孫はできず、今の代で一族の命脈が
絶えるという意味になるから。(七十字)